

「信州大学今昔」展示趣旨

信州大学は、戦前に設立された前身校7校の伝統を引き継ぎ、1949年に発足しました。2019年は信州大学設立70周年の年で、同時にこの年は旧制松本高等学校の100周年にもあたっています。本展は大学史資料センターによる企画展として、信州大学の成り立ちを、各学部が所蔵する特色ある資料を通じて概観したいと思います。

信州大学とは
松本キャンパス

昭和24年(1949)6月1日、松本高等学校・松本医科大学・長野師範学校・長野青年師範学校・長野工業専門学校・県立農林専門学校・上田繊維専門学校を母体として、信州大学が誕生しました。本展示では、信州大学の創設に関する資料をはじめ、5つのキャンパスごとに、8つの学部の「沿革」と貴重な「逸品」をご紹介します、信州大学の「昔」から「今」までの歩みをご覧くださいませ。

文部省学校教育局長通知「新制国立大学設置について」
昭和24年(1949)5月31日 大学本部 蔵

昭和23年(1948)7月30日付で申請していた信州大学設置について、大学設置委員会(文部省)からの答申内容を伝達したもの。昭和24年度より、松本市大字桐109の地に本部を置き、6学部13学科編成で開設する旨が通知された。また、設置条件として、校舎・施設の拡充整備、教員(特に数学)の充実などが指摘されている。

信州大学
創設に関する
逸品

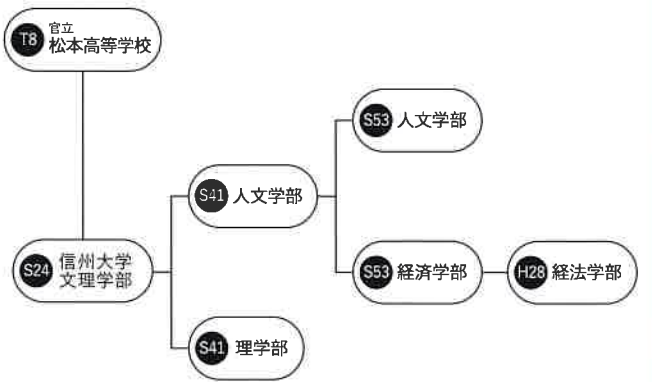
現在、松本キャンパスには、医学部・人文学部・経法学部・理学部があります。この地には、旧陸軍歩兵第五十連隊が置かれていました。昭和19年(1944)、松本医学専門学校が設置され、戦後に連隊跡地に移転しました。その後、松本医科大学を経て、昭和24年(1949)の信州大学設立時に医学部となりました。あがたの森にあった旧制松本高等学校は、信州大学設立時に文理学部となりました。文理学部はあがたの森をキャンパスとし、人文学部と理学部に改組されたのち、現在地に移転しました。昭和53年(1978)、人文学部経済学科は経済学部(現・経法学部)となり、現在に至ります。

人文学部 Faculty of Arts

経法学部 Faculty of Economics and Law

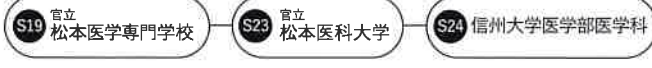
理学部 Faculty of Science

人文、経法、理学部 沿革

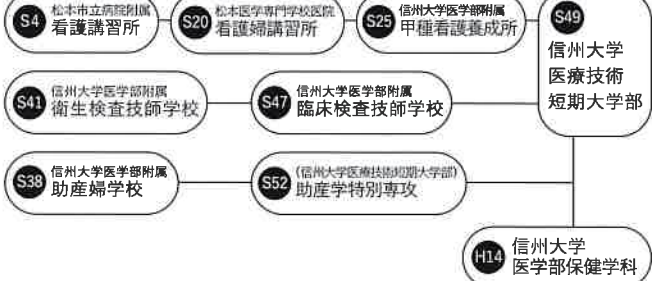


医学部 School of Medicine

医学科 沿革



保健学科 沿革



落成記念写真帖
大正11年(1922)10月 中央図書館 蔵

大正11年(1922)、旧制松本高等学校の校舎落成を記念して作られた写真アルバム。巻頭には、松本中学校(現:松本深志高等学校)の校舎を間借りしていた開校当初からの念願であった校舎新築への喜びが記されている。1枚目には「日本アルプス」の写真が収められており、信州全体をキャンパスとみなしていたことがうかがえる。

文・経・理
これ
逸品

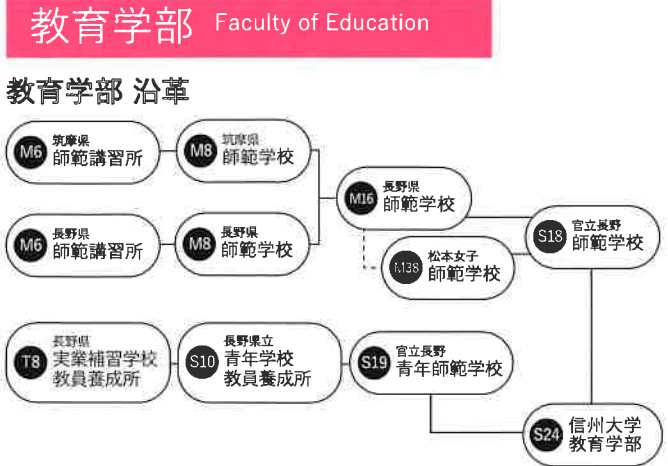
官舎之記
昭和22年(1947)1月5日 医学部 蔵

信州大学の設立に尽力し、初代医学部長をつとめた竹内松次郎(雅号:十松)直筆の書。医学部の前身である松本医学専門学校の初代校長として招かれ、構内に存在した官舎(校長宿舍)への入居に際して詠んだ漢詩。旧陸軍歩兵第五十連隊の駐屯地であった頃より有名な桜の様子とともに、無事に入居の済んだ安堵感を詠んでいる。

医学部
これ
逸品

長野(教育)キャンパス

現在、長野(教育)キャンパスには教育学部があります。この地には、明治41年(1908)まで、「長野県庁」と「長野県師範学校」が隣接していました。同年5月〜6月、立て続けに起こった火災によりいずれも焼失し、師範学校は再建されましたが、県庁は移転することとなります。その後、師範学校は昭和24年(1949)の信州大学設立時に「教育学部」となり、現在に至ります。



長野県師範学校学友会蔵書
明治初期 教育学部図書館 蔵

長野県師範学校から教育学部へと引き継がれた約18,000冊のうち、「学友会」が収集したもの。学生自らが資金を出し合って購入したこれらの書籍には、「長野県師範学校学友会図書館蔵書印」などの蔵書印がみられ、一部が赤く塗られているのが特徴。教育学をはじめ、言語・歴史・地理・哲学・美術など、幅広い書籍がある。約1,000冊。

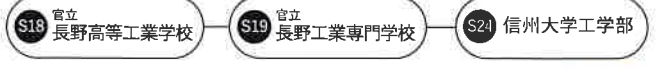
教育学部
これ
逸品

長野(工学)キャンパス

現在、長野(工学)キャンパスには工学部があります。かつてこの地には、「長野工業試験場」がありました。昭和19年(1944)、試験場の移転に伴い、長野市岡田にあった「長野高等工業学校」(昭和18年設立)は、「長野工業専門学校」に改組・移転し、試験場建物を校舎としました。その後、工業専門学校は昭和24年(1949)の信州大学設立時に「工学部」となり、現在に至ります。

工学部 Faculty of Engineering

工学部 沿革



信州大学工学部設置申請書
昭和23年(1948) 工学部 蔵

信州大学工学部の新設時に作成された文書一式。設置要綱や学則、校地の図面をはじめ、講座の構成や履修方法等、現在の工学部の礎となる規範が記されている。特に設置要綱からは、「工業に関する地方的学術の中心」として、信州の地域特性をふまえて社会の発展に寄与する自負がうかがえる。

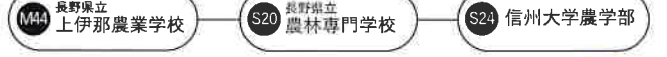
工学部
これ
逸品

伊那キャンパス

現在、伊那キャンパスには農学部があります。農学部の前身である「長野県立農林専門学校」は、昭和20年(1945)、「上伊那農業学校」(現・上伊那農業高等学校)に併設されました。上伊那農業学校の寮の隣接地に建てられた農林専門学校は、昭和22年(1947)、現在農学部がある地へと移転します。その後、昭和24年(1949)の信州大学設立時に「農学部」となり、現在に至ります。

農学部 Faculty of Agriculture

農学部 沿革



安西流馬医巻物
宝永7年(1710) 農学部図書館 蔵

仏教と陰陽五行説を基本思想とした馬医学書。天正7年(1579)、馬医学に通じた故実家の安西播磨守によって著されたものの写本。入門者のために、馬体解剖図、季節による馬の病気、針治療法、馬医学修得の心構えなどが記されている。昭和49年(1974)、駒ヶ根市の笹古家から信州大学農学部へ寄贈された。

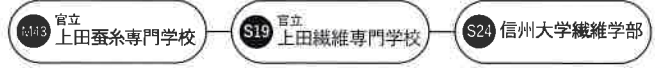
農学部
これ
逸品

上田キャンパス

現在、上田キャンパスには繊維学部があります。明治43年(1910)、この地に官立の「上田蚕糸専門学校」が設立されました。元々蚕糸業が盛んな土地であることや、地域の誘致活動により、上田の地が選ばれました。その後、昭和19年(1944)に「上田繊維専門学校」と改称し、昭和24年(1949)の信州大学設立時に「繊維学部」となり、現在に至ります。

繊維学部 Faculty of Textile Science and Technology

繊維学部 沿革



開校式記念繪葉書
大正2年(1913) 繊維学部 蔵

上田蚕糸専門学校(繊維学部の前身)の開校式を記念して作られた絵葉書。上の絵葉書では、手前に桑畑が広がる様子と、中央には製糸工場の煙突が描かれ、養蚕や製糸に関する実習を行っていた開校当時の様子がうかがえる。右端には、現在も繊維学部資料館として活用されている貯繭庫(登録有形文化財)が描かれている。

繊維学部
これ
逸品

信州大学のこれから

本展示では、信州大学の「今」と「昔」を紹介してきました。これからも、学生や教職員はもちろん、卒業生や保護者の皆様、地域の皆様、信州大学を応援してくださる多くの方々と共に、信州大学の歴史を作り上げて行きます。